

はじめに

高砂市では、人と自然とが共存し、活気とやすらぎのあるまち高砂の実現に向けて、1997（平成 9）年に第 1 次高砂市環境基本計画を、続いて 2017（平成 29）年に第 2 次高砂市環境基本計画を策定し、「自然・まち・ひとが共生する高砂 ～水と緑が将来に続く～」を基本理念とし、様々な施策を進めてまいりました。



2020（令和 2）年に国内で確認された新型コロナウイルス感染症は、私たちの経済活動や市民生活に大きな影響を与えるとともに、世界に大きな変化をもたらしています。環境行政を取り巻く状況についても大きく変わり、気候変動・地球温暖化問題、生物多様性の保全、瀬戸内海のきれいで豊かな海への再生、食品ロス問題、海洋プラスチックごみ問題など多様な課題に直面しています。

このような状況のもと、国際的には SDG s（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組が進められ、国の第 5 次環境基本計画では、環境・経済・社会の統合的向上の具体化を進めるとして、持続可能な地域循環共生圏を構築するとしています。

本市においても、環境負荷低減に向けた取組をより一層進め、次世代により良い環境を引き継いでいく必要があります。2021（令和 3）年 7 月には、気候変動・地球温暖化問題に対応するため、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「高砂市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

そして、本市では、第 2 次高砂市環境基本計画の策定から 5 年目に当たることから、これまでの 5 年間の運用状況を分析し、本市を取り巻く環境の変化に対応するため、中間見直しを行いました。本計画では、第 5 次高砂市総合計画が目指す将来像「暮らしイキイキ 未来ワクワク 笑顔と思いやり育むまち 高砂」の実現に向けた「環境にやさしい暮らしがあるまち」を目指した施策にも取組んでまいります。

結びになりますが、本計画の策定にあたり、市民意識調査にご協力いただきました市民、事業者の皆様、熱心なご審議とご意見をいただきました「高砂市環境審議会」の委員の皆様並びに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2022（令和 4）年 3 月

高砂市長 都倉達殊